

## ロックボックスの使用方法について



『アイフューザー プラス』専用のロックボックスは鎮痛剤などの薬剤を安全に管理するためのものです。ロックボックスは鍵をかけることができ、薬剤を容易に取り出せないようにしているため、薬剤を安全に管理することができます。また、専用のポーチを使用すれば、移動時の持ち運びに便利です。

1



消毒用アルコール綿等で混注口及びキャップ部を消毒します。  
次に、専用輸液セットの注入ポート(プラネクタ)から、バッグに薬液を注入し、充填します。



(注意)  
プラネクタにアクセスする際は、ルーア・シリンジを使用し、注射針・カニューラ等を使用しないでください。薬液漏れ等の原因となります。



2



バッグの中のエアーを抜きます。バッグを指ではじいてエアーをバッグ上部に集め、集まったエアーをシリンジで引き抜きます。

3



専用輸液セットのカセットを、ポンプに正しく装着し、クランプを開けて、プライミングします。

(専用セットの装着方法)



クランプを閉じた状態で、カセットを奥まで押し込む



リリーススタブを押しながらクランプを押し下げる。

4



輸液セットを  
ループさせる。

アイフューザー プラス本体と薬液の入ったバッグを  
ロックボックスに収納します。  
**上部にポンプ、下部にバッグを収納します。**



(POINT)  
ラッチが閉じていることを  
確認！



(POINT)  
ロックボックス側面には、**輸液  
ラインを通す溝**があります。



⚠  
**チューブを傷つけないよう、  
気をつけてください。**

5

最後にスライドロック  
をかける。



ロックボックスの蓋を閉じ、鍵をかけます。

鍵は管理者の方が大切に保管してください。  
・患者さんが不用意に使用しないよう、ご注意ください。  
・鍵を紛失しないようご注意ください。



指を挟まないよう、注意して下さい。

患者さんの移動時には、専用ポーチを使用すると便利です。



PCAボタン収納ポケット



ポーチの側面にはPCAボタンを収納できるポケット  
がついています。  
患者さんが使用されない時には、ポケットに収納して  
おくと便利です。

### 輸液ラインの管理



ポーチの側面には輸液ラインを  
通す箇所を設けており、無理な  
収納によるライン閉塞を防止  
します。